

広報



わしま

—人口の動き—

11月末現在
 出生7人 死亡3人
 転入2人 転出12人
 世帯数 1,279世帯(-2)
 男 2,817人(-5)
 女 2,892人(-1)
 合計 5,709人(-6)

聲・心



ちよう
聲
心

社は福と同意義 めでたいことを盛めるの意味

- 主な内容
- 2頁～3頁…年頭のあいさつ(村長、議長、首都圏ふるさとわしま会々長)
- 4頁～5頁…カメラスポット(モチツキ大会)、村長室の黒板
- 6頁～7頁…ワシマススポット、読者リレー、時の人
- 8頁～19頁…家庭の日の作文
- 20頁…ナイスカップル、温故知新



ナイスカップル
 わたしが選んだ人
 選ばれた人
 奥さんの趣味は「子育て」
 加勢さん夫妻(三瀬ヶ谷)

今回は三瀬ヶ谷にお住まいの加勢雅彦・律子さん夫妻(世帯主 雅彦四郎さん)です。加勢さん夫妻は結婚されて一年九カ月。雅彦さんは、長岡市の自動車販売関係の会社に勤務され、律子さんは、桐島小学校の先生です。現在八カ月になる「千紘ちゃん」と御両親の五人家族です。律子さんは長岡市出身。

— 出会いはいは？ —
 知人の紹介で知り合いました。「あまり深く聞かないでください」と奥さん。結婚まで一年三カ月程交際期間がありました。ダンナさんはどんな人？

優しい人です。思いやりがあって楽家な感じがすね。(ダンナさんは、酒もタバコもたしなまないそうです。)

— 奥さんはどんな人？ —
 尽くしてくれます。少々いじりばりですが。(隣りでニコリ)「仕事が大変な事は理解しているんですが、やはり早く帰宅して欲しいですね」と奥さん。「一応満足しています。ただ行動がのろくて…」とダンナさん。「学校ではキビキビしていますよ。」と編集者が言うと「そうですね。」と疑問の様子。

— お互いに点数をつけたら？ —
 奥さんはダンナさんを80点。
 ダンナさんは奥さんを88点。
 (本音は奥さんに100点をつけたのですが、奥さんが固辞。)

— 何か一言をどうぞ —
 大きな市と比較して、住民同志やそれぞれの機関との密着度が高く、非常に良い事だと思います。しかし、いま一歩若い層を引きつける魅力に欠けるような気がします。それと私事です。が、この地域(三瀬ヶ谷)が村内で一番道路整備が遅れている様子。早急にお願いたいです。

「今は子育てが唯一の趣味です。」と教職のかたわら、家事、育児を両立させている律子さん。たまに学校の仕事を家に持って来るそうですが、それに理解を示してくれるダンナさん。「今は、この子が家族の中心です。」と言う「フレッシュなカップル」でした。

温故知新 妙法寺並びに孝女百合 (温古の葉より)

『三島郡村田村妙法寺ハ、日蓮宗ノ本山ノ巨刹ニシテ、開基ハ日照師トス。日蓮筆ノ物ヲ始メ種々ノ什宝ヲ蔵セリ。塔中金蔵坊、大乗坊、本藏坊、専藏坊、愛全坊、イヅレモ山腹ニテ、古松柏枝ヲツラネ日光ヲ見ザル境内ナリ。里人ハ単ニ大寺ト称ス。寺領旧高三十五石ヲ有セリ。』
 栗には、和島村地内の寺院はこれ一カ寺だけでいと簡単に誌している。

十四篇に孝女百合の事が載っているで紹介します。
 『由里女ハ村田村農伊兵衛の娘ニシテ性質溫柔。長ジテ同郡尼瀬大工作太夫ニ嫁セシヨリ、能ク婦道ヲ守リ姑ニツカヒテ、至テ孝ナリ。姑甚ダ老ユ、由里益々心ヲ用ヒ専ラ美羹珍味ヲ供シ歛心ヲ買フヲ以テ楽ミトシ、カッテ一日モオコラザルナシ。姑病ムヤ由里悲観ニ堪ヘズ。晝夜寝食ヲ忘レ病床ニ侍シ医薬ヲ進メ云々』(以下略)

こうした百合の行が長岡城主の耳に入り召されて、銀二十枚を賜り褒賞された。また、幕府もその篤行を儒官をして孝婦伝を書かせ世上に公布せしめた。

今尼瀬の日蓮宗善照寺の境内に大きな碑が建てられている。百合の生家は、妙法寺とゆかりの深い田中家(村田・当主泰雄氏)であると伝えられている。宝暦六年(1756)に書き上げられた「越後名寄」に丸山元純は、孝婦伝を書き、その中にこう書いている。「百合は(元純はこの字を使っている)元来三島郡村田村の農業伊兵衛が娘也。伊兵衛の親は、同村村田村妙法寺の住職、何れの代か京都より下向ありしに随行せしがこれに止まりて村田村の住人となる。以下略

温古の葉の筆者はこの古書を底本として誌したのであろう。久住熊三郎氏より



新年のごあいさつ

和島村議会議長

久須美 逸郎



輝かしい昭和六十年の年頭にあたり、和島村議会を代表いたしまして謹んで新年の御慶びを申し上げます。

新しい希望の出発点として村民皆様の御多幸をお祈りし、日頃の御支援と御協力に心から感謝申し上げます。

長びく経済不況も昨年は回復の兆しありと言われながらも、依然厳しい年でありました。糸口はつかみ得たと言ふものの、着実な安定成長の軌道に定着もならず一年が暮れました。



我が和島村も例外でなく、厳しい行財政の波に洗われた多事多難な年でありました。

このような厳しい変革期において村民皆様の求められているもの、それは安易な迎合ではなく、ありのままの現実と問題点を卒直に示し、その克服への具体的方策を皆さんと共に考え、実行していく姿勢でなければならぬと思ひます。そして、この未曾有の財政危機を克服し、明るく住み良い調和のとれた和島村をもっととした村政推進のため、議会本来の使命を忘れることなく全議員一丸となって、一層の努力を惜しまない決意を新たにすものであります。

本年も村民皆様の御理解と御指導並びに御協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

郷土の発展を祈念して

首都圏ふるさとわしま会々長

宮田 清一



郷土和島村の皆様、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、私共「首都圏ふるさとわしま会」に対して格別なる御高配をいただき誠に有難うございました。

お蔭様で分家「首都圏ふるさとわしま会」も会員相互の信頼を深め、年毎に盛大さを加え、昨年四周年を迎えることができました。これも偏に本家の皆様の御支援はもとより、会員の愛郷心の反映の賜と深く感謝いたしております。



昨年の総会に際しまして、清野村長はじめ多くの来賓をお迎えし、心温かな激励のお言葉や村政の詳細な報告を拝聴することができました。また、郷土の香り豊かな土産や、郷土の民謡の皆様による懐かしい踊り、歌等の御披露に接し、郷土を愛しながら首都圏で生活する私共会員にとって大きな心の糧となつた総会でした。

先輩、後輩との語り合い・励まし合い、楽しみ喜び合うことのできるのは、郷土のある私達のみが知りうることで、この輪を尚一層広げる所存ですので、本年も同様皆様の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

終りに、郷土和島村の皆様利益の御繁栄を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

止まります 待ちます 車のきれまで!

21世紀に向う村づくり 村勢発展は人づくりから!



和島村長 清野 精合

年頭のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

皆様がそろってよいお年を迎えになったことと心からお慶び申し上げます。

昨年は豪雪は別として、災害もなく稲作等の農作物も生育期の気象条件に恵まれ、全国県内各市町村と同様数年来の豊かな実りの秋を迎えました。村の仕事も幼稚園開園、島小プールの完成等予定通り進めることが出来ました。村民各位並びに村議会の御理解と御協力に深く感謝の意を表します。

さて、本年は国の行革の実行

各種補助金の一〇%削減、補助率の下降等特に福祉、農林水産業に厳しい姿勢がうかがわれます。

これに対して村財政の対応は、昨年の年頭のごあいさつにも申し上げましたように、本年も財政調整の年にしたいと考えております。累積村債の繰上げ償還を行うと共に保育所の新築、定住促進事業(防災無線施設)農村総合整備モデル事業の新規着工

これらの整備が進むことによつて県内中核都市への時間空間は圧縮され、首都圏への距離感も稀薄になり、日常の行動・生活態度も私達の地域に一体化される事がそう遠くない将来にやることが予想されます。

これらに合せた村内の環境整備、働く場所、雇用条件の整備等その促進に努めなければなりません。その際この自然一杯の環境を損なわず、和島村の素質

を生かした環境整備を進めると同時に、その中身として定住する人づくりに最大の意を尽すことが肝要であります。

人づくりこそ村勢発展の活力の源泉であります。

かつての高度経済成長時代のように、ただ品物を求める体質から脱却して心を充実する教育文化の進展を期し、体力向上を目指してスポーツを振興し、高齢化時代到来に備えてお年よりを敬い大事にする運動等村を挙げて推進したいと考えます。

そのような心構えと施策が一致した時に、温かい心ふれ合う家庭が生まれ、朝晩お互いに声をかけ合う地域が現われてまいります。

二十一世紀を後十数年に構え、この時期の創生期に主役を演ずる今の青少年の皆さんの育成こそ緊急事でありました。温かい家庭に育つてくれ、時代に対応し、バランスのとれた教育・文化・スポーツの供与こそ今の私達世代の責務でもあります。

村民各位の御理解と御協力を得たいと存じます。

どうぞ健康にご留意され心豊かな一年となるようお祈りして年頭のごあいさつといたします。

健康で築くわが村わが家庭

モチツ



ホラ！もうすぐできるよ



ガンバル桐島地区農協のおじさん達

キ大会



おいしいネ！



児童もモチツキに参加



村長室の黒板から

和島村長 浅野 隆

十一月十九日 与板・中之島、和島の三町村土木合同委員会を本村で開催。

二十日 三校PTA連絡協議会に出席要望等をお聞きする。

二十一日 新年度予算検討会議を開き各課所管の主要事業計画案を検討する。

二十六日 長岡市における明るい社会づくり県大会出席

二十七日―三十日 全国町村長大会に合せ、国保全国大会、公立文教施設大会等に参加。在京

十二月四日―五日 全国治水大会等に合わせ農村総会モデル事業陳情のため、農水省各部課へ

七日 年末区長会 終了後慰労の小宴を設く

八日 国保県連の依頼による中央陳情のため上京

九日 小島谷集落開発センター竣工式 立野地区土地改良完

十日 農業所得協議会県連絡協議会出席

十一日 県下のモデル事業実施市町村の合同陳情 大蔵省等

十二日 清掃センター管理者会議 不燃物処理等を協議

十六日 下富岡部落の高稲葉線完工式に参列

年末雑感

今年が年明け三カ日を過ぎると待っていたように連日の降雪三六、三八の豪雪を凌ぐ大雪となりました。そのため春遅れとなり稲作が大変心配されましたが、好天適度の降雨に恵まれ数年来の豊作となり、また災害らしい災害もなく、良い年となりました。一方、国の財政難が、村財政にもストレートに響き厳しい状況となりました。また国

家財政のしわ寄せがこないよう、わが村のことだけでなく、県や関連団体から依頼され、かり出されて陳情の連続でした。「黒板」に書きましたようにこの師走に入って、特に忙しく、アツと言う間に年末を迎えました。いつものことながら、来年こそ心晴ればれた良い年となるよう祈って本年を送りたいと思います。

節約と工夫で守るわが家のくらし

桐島地区農協より うれしいプレゼント

—桐小スクールバンドへ—

モチツキ大会終了後、桐島地区農協より桐島小学校スクールバンド（鼓笛隊）に楽器購入の一部にと15万円の寄贈がありました。

これは桐島地区農協が、展示会で行った「不用品チャリティーバザール」の収益金を寄贈されたものです。

宮田組合長から児童代表近藤孝幸君（六年生）に「一生懸命練習に励んでください」と手渡され、お礼に桐小スクールバンドの演奏が披露されました。

お正月につきものは、おモチとお酒？

十一月も後半になりますと、村内あちらこちらでモチツキが始まりますが、最近はやや杵でのモチツキは見かけなくなってきました。

しかし、伝統的なモチツキを子供達に披露してくれる団体が三つあります。桐島地区農協と島田地区農協そして、和島村剣道教室父兄会です。

桐島・島田両地区農協は、桐島・島田両小学校で、保育所の園児を招いてモチツキを披露し、ごちそうしています。

そんな中で今回桐島地区農協にスポットをあててみました。

十一月十四日（金）午前十時半、児童と園児が整列して今か今かと待ち望んでいる中、桐島地区農協のおじさん、おばさんが登場。とたんに児童達はキョロキョロし始めました。

宮田孝一組合長のあいさつの後、モチツキ大会開始です。

給食室で蒸されたモチ米は八十kg。キナ粉にコウトウそれに食後のみかんこの日の材料は全て桐島地区農協の寄贈です。

モチツキが開始されると歓声が湧き上がり、その声が「ヨイシヨ、ヨイシヨ」のかけ声に変わります。その後、六年生の代表がモチツキに加わります。しかし、慣れない事と力不足で、こつけないモチツキになり、笑いながら体育館内に響きました。

（※ 児童の中に八個、十個食べた子がいたのは、取材をしていて驚かされました。）

急ぐほど 減らす燃料 増す危険

☆ スポット ☆

祝 待望の

小島谷集落開発センター完成!



村内九カ所目

「明るい対話のある集落づくり」の拠点として

昨年九月に着工された小島谷の集落開発センターが十二月六日に完成いたしました。

この集落開発センターは、新潟県農林水産業総合振興事業で県並びに和島村の補助金と、部落の負担金で建設されるものです。

上、中、下小島谷が統合されたこのセンターは、大、小会議室、談話室、調理実習室を備えた近代的な建物で、和島村では九カ所目の集落開発センターになります。

今後は、「明るい対話のある集落づくり」の拠点として、活発に利用されることでしょう。

輪の友情を 読者へ

われら仲間シリーズ(20)
人とのふれあいを
大切に

倉部 和子さん(五十歳・花巻)

「子育て」に無我夢中で過ごして来た私。子供達も成長し、それぞれの道に進み「ホッ」とした時、地域の踊りの会に誘われ参加してもう三年になりました。

私達の踊りの会の年齢層は、二十代、五十代と幅広い構成になっております。目的に向って進む心はいつも一つです。毎日が忙しく、せちがらい世の中に、皆んなに会えるのが私の唯一の楽しみです。跳んだり、

趣味を通じて人間のふれあいを多く持つ事が、人間を豊かにし、かつ、近い将来の老後の幸せにつながるのではないのでしょうか。



次は田村栄子さん(36歳・梅田)です。

☆ ワシマ ☆

「税に関する標語」で入賞



中学生を対象とする「税に関する標語募集」で、北辰中学校3年生の本間美幸さんと矢沢紀子さんの2名が左記の通り入賞されました。おめでとうございます。

「税金は明るい
くらしのパートナー」
「税学び納める
義務の大切さ」

関東信越国税局長 佳作
北辰中3年 本間 美幸
長岡税務署長 優秀
北辰中3年 矢沢 紀子

時の人 明るい家庭づくり標柱設置

上桐部落区長 小黒 久雄さん



上桐部落は、昭和五十八年度から二年間、県から明るい家庭づくり推進地区として指定されています。市は二地区、町村は一地区です。指定されますとその地区では推進委員会をつくらせて活動を行っていますが、上桐部落としては特別な組織はつくらず大字上桐の中で村教育委員会、青少年育成村民会議のご指導をいただきながら活動しております。

活動としては、講演会の開催、映画会、啓発チラシの配布など「できるものをやってみよう」と言う考え方がたつて行つて参りました。

指定期間もあと六ヵ月(六十年三月末まで)となりました。

明るい村づくりの部

笑顔でかわそうあいさつを。

今日と明日への和を作る。

朝のあいさつ夕べの感謝

助けあいましょう手に手をとって。

せまい村道心くばりで広くなり。

明るい家庭づくりの部

親から直そう良いしつけ。

一日の出来事話そう我が家のテ

ーブル。子育ては物金なくして親ごころ。

家庭の日の作文

和島村青少年育成村民会議 和島村教育委員会



たのしかったおてつだい

島田小学校一年 さとう のり子

このまえの日よう日は、とてもたのしい日でした。みんながうちにいたので、わたしはいろいろとおてつだいをしました。おとうさんとおかあさんと、それからおばあさんにもおてつだいをしました。

あさおきると、おとうさんが車の手いれをしていました。車がかしようにしていかたしかめていましたが、「のり子、どこかわるいところがあるかもしれないから、どうぐをもってきてくれ。」ときました。わたしは、なすどうぐをさがしてもっていきました。



ぼくのうちのがせく

桐島小学校一年 むら木 とおる

おばあさんは、ボタンをつけたり、やぶれたズボンをおおすので「はりばこをもってきてね。」といきました。それがおわると「ほうきをもってきて。」といきました。わたしは、おおいそぎでもっていきました。

おじいさんは、かきものやしらべものをしていましたが、「つくえの上にあるものをもってきてくれ。」といきました。

「きょう、ごはんにいります。」ときます。おとうさんは、じどう車のぶひんのかたをつくるしごとをしています。よる一じはんごろにかえってくることもあるので、よるおとうさんにあえない日もたくさんあります。そんなときは、すこしさびしいです。

おばあさんは、りよかんをしていておきやくさんをとめるしごとをしています。ブルボンでつくるおかしのかいのごとにくる人や、りよかんさまのきねんかんにくる人がとまります。おばあさんは、おちやのういをしたり、ふとんをしたたり、ごはんのしたくをしたたりします。おきやくさんのとまらなるときは、ときどきはたけにいります。ことしは、かぜがふかないのでやさいがよくできた

いって、だいこんやキャベツやはいさいなどをじてん車につんできます。おばあさんは、せなかのほねがまがっています。だから、くすりをのんでいます。一日じゅうたたくさんのしごとをしてよるになるとつかれているので、はやくねてしまいます。ぼくは、おもいものをもってやったりさをあらったりつたいていをして

やります。おかあさんは、あさ、せんたくをします。それからいえのうちのそうじをします。おひるにちよつとだけテレビをみたり、しんぶんをよんだりします。ゆうがたおつかいについてごはんとしたくをします。ごはんをたべてからはあとかたづけをします。そしてぼくたちのべんきょうをすこしみてくれます。

にいやんは、二ねん生です。ぼくとにいやんは、まい日いつしよにあそんだりべんきょうしたりしています。ふつうの日は、おとうさんのかえりがおそいのでみんなでいつしよにごはんをたべたり、あそんだりできませんが、日よう日には、みんなでジャラポンゲームをしたりします。とてもたのしいうちです。

ごほうびだ。」といて、うどんとカンジューズと百円をくれました。そのほかに、おとうさんは、いそがしいときは、いそいでさかなを切るの、手を切つてしまふこともあります。おとうさんは、ラジオをききながらさかなを切ります。はじめにさかなの頭をザクツと切つて、かわをズルズルとむきます。そして、ほねをとって、みを切るとおさしみになります。とてもはやくできるので、おとうさんの手はさかみだいなあとあります。でもこの前、おとうさんは、おさしみをつくつていてるとき、ほうちようでゆびの先を一センチぐらい切つてしまいました。ほうちようは、長くてほそくてよくきれるほうちようなので、ちよつとしばいすると、すぐゆびがぎれてしまいます。だから気をつけてほしいと思います。

ぼくは、「おとうさんのたのしみは何かなあ。」と考えてみました。ぼくは、日よう日には学校が休みだし、なつ休みも、おふゆ休みもあります。でも、おとうさんの休みは、七のつく日だけです。一か月に三回しか休みません。だから休みの日にゆ



ぼくのおじいちゃん

島田小学校二年 大崎 光章

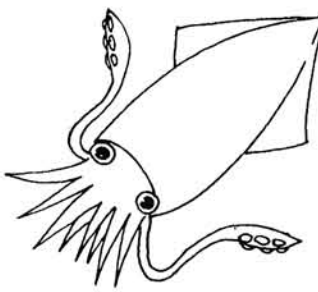
ぼくのうちは、さかなやです。だから、おとうさんは、毎日朝早くいち場に行つて、いろいろなさかなをしいれています。おとうさんに、しごとでたいへんなことはどんなことかきいてみました。

まず一つめは、朝早くおきることです。夜もおそくまでおきてうり上げの計算をしているのに、つぎの日の朝、また早くおきてしいれに行かなければいけません。みせがいそがしいときは、朝の一じごろからしごとをはじめます。それに、ふゆにな

ると、ごはんを食べないで行くときもあります。ぼくは、いつも六じごろおきるので、おとうさんはとてもたいへんだなあと思いました。

二つめは、さかなをやすくいれることです。ぼくは、このあいだの休みの日に、おとうさんといつしよに、うおいち場に行きました。朝早かつたのでとてもさむかつたけど、ぼくは、とてもたのしみでした。うおいち場につくと、もうたたくさんの人がきていました。大きなさかなや貝やえびがいっぱいあつて

つくりとねているのが、おとうさんのたのしみかなあとあります。それに、おとうさんは、いつもしごとがおわると、ゆつくりおさけのみながらテレビを見ています。それまたのしみかもしれません。おとうさんは、ぼくたちといつしよにあそんでくれることもありました。キャッチボールをしたり、自転車にのつたりします。ぼくは、おとうさんといつしよだともたのしいので、おとうさんもきつとたのしいだろうなあとあります。





がんばりおばあさん

島田小学校四年 佐藤 あすか

「ただいま。」学校から帰って言うとおばあさんが「お帰り。」と明るく言ってくれます。その時、おばあさんは内しよくしています。おばあさんの仕事は、チョッキのぼたん付けやいろいろ細かい内しよくで、めがねをかけてやっています。手仕事なので、指先の皮がへって赤くなっています。



家族への協力

桐島小学校四年 須佐 清美

夕方になると、おばあさんは「何のごちそう作ろうかな。手がいたいな。」と言いなながら、台所に行きます。毎日おばあさんは、料理をお母さんみたくに上手に作ります。まず、ご飯をたきました。次に、なめこじるを作りました。妹の冬美が、においでわかつたのか、台所に入ってきた。おばあさん、お夕飯作っているの。」と聞くと、おばあさんが「そうだて。」と手を動かしながら言いました。ジャガイモやりんごやマカロニなどを入れて、サラダを作りました。「ご飯だよ。」とおばあさんがよぶと、待っていました。

わたしは、おばあさん、おじいさんが、いません。わたしのお父さんお母さんは、会社につとめています。お姉さんも中学生だから、夕がたおそくしか帰ってこないのわたしは、かぎつ子です。毎日、おかあさんが帰ってくると、部屋や、おかつたのあらいものがあつて、だれもやってくれないので、お母さんは、「部屋とか、だれかかたづけてくれないか。」とわたしたちにいいました。



やりたいな。」と小さい声で一人言を言いました。わたしも、おばあさんだったらそう言う気持ちだと思えます。わたしは、八時ごろもうねます。でも、おばあさんは、十一時ごろやつと内しよくを終えてねることがよくあると言っていました。やつぱり、わたしの家のおばあさんは、がんばりおばあさんだと思えます。

などころをやるだけやろう。」と思いました。そして、まず最初に部屋のかたづけをして二番目におかつたのそうじをどんどんとやっています。お母さんが帰ってくる時間までに、終わらせようとしていました。そうじが終わったところにお母さんは、家の中を見まわして「ありがとう。清美のおかげできれいになったね。今度、清美に、何か買ってやるけん。」と言いました。わたしは、「べつにそんなことやらなくていいよ。ただみんなが、けんこうにすごせばいいよ。」と言うと、お母さんは、「いい子だ。いい子だ。いい子だ。」と言って頭をなでておかつたごはんを、つくりはじめました。



白菜取り

島田小学校五年 久住 幸代

そして、ごはんを食べているとおかあさんが、「清美毎日やつてくれるんだねえ。」と言ったから、「わたしがひまがある日や、学校が早く終わった日には、やつてあげるよ。」と言いました。お母さんが、「おひまちゃんも清美みたいに、ひまがあつた時くらいやつてくれるといいんだけどね。」とゆうとおねえさんは、「わかつたけど、宿題とかテストがある日は、

今年も白菜取りの時期がやってきました。いつもこの時期になると、家族そろつて、白菜取りをします。私の家族は、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、弟、そして、私の六人家族です。この前、十一月二十三日の勤労感謝の日、おばあさんと、お父さんと、私の三人で、家の山の畑に、白菜取りに行きました。お父さんが、軽トラックに一輪車に乗せていました。お父さんが、「行くぞー。」と元気よく言いました。いよいよ白菜取りに出発します。おばあさんが軽トラックに乗りました。山の畑は車で五分ぐらいの所にあります。山の畑につくと、お父さんが一輪車をおろしてくれました。私は、一輪車をおして山に登

ばかりに妹もわたしも、走って行ってすぐ食べます。おじいさんが、酒を飲み始めて、「お前も一ぱい飲めや。」と言っておばあさんにやりました。「いらねえで。」と言いなながら飲んでいました。おじいさんは、いつも酒を飲む時は必ずさかずきに、一ぱいおばあさんにあげます。そんな時わたしたちも、ジュースでも飲みたいたいと思います。後かたづけはいつもはお母さんがやるのですが、お母さんがおそい時は、おばあさんがやります。お母さん早く帰って来てほしいと思います。

わたしは、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、弟、そして、私の六人家族です。この前、十一月二十三日の勤労感謝の日、おばあさんと、お父さんと、私の三人で、家の山の畑に、白菜取りに行きました。お父さんが、軽トラックに一輪車に乗せていました。お父さんが、「行くぞー。」と元気よく言いました。いよいよ白菜取りに出発します。おばあさんが軽トラックに乗りました。山の畑は車で五分ぐらいの所にあります。山の畑につくと、お父さんが一輪車をおろしてくれました。私は、一輪車をおして山に登

働いている様子を三まいぐらい写真にとつて、「ありがとうございまして。」と言って帰って行きました。お父さんに「あの、だあれ。」と聞いて見ました。お父さんは、「カメラマンだろ。」と、あわてる様子もなく言いました。突然「父ちゃん、かつこいいからなあ。」とか、おもしろいことを言って、私をわらわせました。そんなお父さんを、私は大好きです。



お母さん

桐島小学校五年 大矢正美

もし、お母さんがいなくなったらどうしよう。ごはんも私たちで作らなければならぬし、洗たくもしなければならぬし。考えただけでも頭がいなくなる。そうじゃなくてもお母さんと妹と三人ぐらして大変なのに。お母さんは日曜日といつても休みではありません。けれどたまに休みがいつしよになると私たちと遊んでくれます。例えば馬とびの馬になってくれたり、さか立ちをして足をもつてくれたり、

いろいろなことをしてくれまして。買物に連れて行ってくれることもあります。そんな時のお母さんはとてもやさしいし、今はやりの歌などを口ずさんで、「これで良かったかな。」とか、「この歌も教えて。」など、とてもよいう気になります。

私たちがいつもお母さんの肩を首を長くして待っています。なぜかという、お母さんはほとんど毎日といつていいほど七時すぎに帰ってくるからです。

早出と休みの日以外は私たちが帰って来ても家にいません。私は妹と時計をながめてはためいきをついていることもあります。その時の時間は私たちにとって、もつとも長くかんじるのです。でもお母さんはちゃんと買物をしてくる時もあります。そしてつかれているのに手作りハンバーグとか、サラダなどとても手のこんだものを作ってくれます。ご飯が少しおそくなってしまふけど私たちは「おいしい。」

また作ってね。」などいいながらたくさん食べます。そして、そういわれた時のお母さんとは、食べながら、私たちは学校の話、お母さんは仕事の話をたくさんします。この間も「バスケットをやってドジふんじやった。」とか、む中になって話してしまいました。ほかにもいろいろな話題で楽しいひとときです。ほかの言葉でいったら「家族いどばた会議」のようです。



家族の中では私が一番おしゃべりです。宿題をしながらでもおふろに入ってから、ふとんに入ってからもおしゃべりをしています。でも、お母さんはあきらることなく聞いてくれるし、自分でも「今日は仕事でまたけがしちゃった。」などいろいろ話してくれまして。

お母さんがおこる時もあります。そんな時は家じゅうが暗いふん囲気になります。でも一日たつとお母さんはもとのやさしいお母さんにもどってしまいません。もしかすると、お母さんは家の中だけの太陽かもしれませぬ。

それにお母さんは仕事の人に好かれていよう。たまたま



父とのだんらん

島田小学校六年 久住孝幸

「孝幸！ここはこうやるんだいや。」今、父が宿題を教えている。前とちがつて、父とよく話をしている。前とちがつて……

昭和五十九年八月二十五日、救急車がぼくの家にきた。そして祖父が入院。祖母がつきそいとして、吉田の県立病院へ行つた。だから毎日、学校から帰ってくる兄弟三人だけで、母が帰ってくるまで留守番をやっていた。母が早く帰ってきてくても父は、仕事で帰ってこない。時々、父の休みの日もあるが、家の修理や二階で何かやっている。だから、父とはあまり口をきかなかった。話をするといつたら、母とばかりでつまらなかつた。

一度でいいから、父と二人つきり、何かをやってみたいなあと思つていた矢先である。

<15> ある日、宿題の自由勉強で計算ドリルをやっていたら、わからない問題が出てきた。その問題を考えていると、父が帰ってきて、「ちらかつてゐるなあ。ま

だ勉強してるのか。」と言つた。そして、夕ごはんを食べた。夕ごはんを食べ終わつても、ぼくは、まだその問題が解けなかつた。そしたら父が「どの問題やつてるんだ。」と、言つたのでぼくは「ここ、五番だよ。」と答えた。父は、宿題を教えるの、こころまでわかるんだけど、ここからわかんないんだよ。」

と答えた。父は、「これとこれをかけてみな。」と言つたので、ぼくは「ここがこうなつて約分すると、えーと、そうだ、一分の十二だ。」すると父は、「じゃあ、これと今出た答えでわつてみな。」ぼくは父の言うとおりにやっていたら、「えーと、一分の三十二だ。」父は、「答えが合っているか見てみな。」



おばあさんと私の仕事

桐島小学校六年 大矢清美

私のおばあさんは、腰が痛いと言いながらも一生懸命に畑の仕事をやっています。そして、高い丘の上にある私の家の畑では、温かいおばあさんの手によっていろいろな作物が育てられていきます。春には、春風のにおいがする土の中で花が育てられます。夏には、むし暑いせみの声がる中で、私の好きなのうもろこしやなすなどが育てら

れます。秋には、稲のにおいがする中で、菊の花が育てられていきます。

しばらくしてから、おばあさんが、「はじめっか。」と言いました。私は、手伝いに来たのは来たが、何から始めてよいかわからなかつたので、「何すればいいの。」と聞きました。すると、おばあさんが「ダイコンの葉を取ってくれや。」と言

と答えた。父は、「これとこれをかけてみな。」と言つたので、ぼくは「ここがこうなつて約分すると、えーと、そうだ、一分の十二だ。」すると父は、「じゃあ、これと今出た答えでわつてみな。」ぼくは父の言うとおりにやっていたら、「えーと、一分の三十二だ。」父は、「答えが合っているか見てみな。」

ぼくは、ずっと入院している祖父が帰ってきて、このような父とのだんらんが、続いてほしいと思つた。



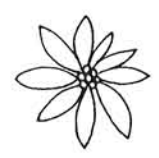
ていて手がとても冷たかったのですが、おばあさんの顔がとても真剣だったので、私もなまけていられないと思い、一生懸命にしました。おばあさんは、くわで畑をたがやしていました。重いくわをふり上げてたがやすので、とても大変だなあと、私がかわってやりました。そして、私がおばあさんに「少し休んでいいね」というと、おばあさんは「ありがとね、清美。」と、おばあさんは「少し休んでいいね」というと、おばあさんは「ありがとね、清美。」

で草取りをしました。弟は、ちよつと頼りがいがなく、何もしないで遊んでいました。おとうさんが運んでいたダイコンはとても重く、おとうさん一人ではとても大変な仕事なので、親類の人達も手伝いに来てくれました。そのおかげで、難儀なダイコン運びも早く終わりました。私のおばあさん、家族、そして親類の人達みんなで協力して畑仕事をしたので、早く終わつたのです。私は、一生懸命にコツコツと仕事をするおばあさん、とても立派だと思ひ、また、みんなで協力してやるのが大切なんだなあと感じました。

最初の仕事が一落ししてから、次に、ダイコンを取る作業に入りました。ダイコンはとても取りにくかったので、大変な作業でした。しかし、長いダイコン、太いダイコン、細いダイコンなどいろいろあつて退くつしませんでした。

か言っています。私は、「なにをやってもいいけど……。」と、言っていました。私は、「母を見たらわなければならぬ。」と思つた。母は、トラックの免許はとつていないが、仕事に行つてきて夕飯を食べてから、ちやわんをあらつたり、せんたくをしたりしています。よその家の人から見ると「そんなことあたりまえじゃないか。」と言われるかもしれないが私はそう思わない。というのは、母の仕事がとつても大変だからです。見たことのない人には、わから

ないと思うが見た人には、とつてもよくわかります。けれど「楽しいこともある。」と母は言っていました。会社でいっしょにはたらいしている人たちがとつても楽しいし、ひょうきんな人もいるからその話で、疲れなんかふつとばして仕事をしているそうです。どんなに辛い仕事でもつらいことばかりじゃなく楽しいこともあるんだなあとつくづく感じました。だからどんな仕事についても一生懸命にはたらかなければいけないということをしりました。



親の仕事について

北辰中学校一年 金井 淳子

私の家族は六人です。父、母、祖父、祖母、妹、私で六人です。父は、トラックの運転手です。忙しい日などは、朝五時ごろに家を出ます。だから私がおきるとういけません。いつも東京や秋田、長野とかまだたくさんのお所へ行つてきます。夜などは、車のベツトにねむります。私もついて行つてそのベツトで寝たことがあります。このころは、あまりついていきません。田は、父といっしょに会社へ行きます。だから父と同じに五時ごろ出か

つています。私は、そのあと「悪かつたかな。」と後悔します。けれどすなおにあやまることのできなくておわつてしまっています。祖父は、入院しているので見舞いなどに行きます。入院するまでは、とても元気だったのにすっかり元気がなくなりま

した。祖母は、家の中の家事や祖父のお見舞いにいってきたりしています。祖母には、いつも世話になつていてけれどどうしてもいつもケンカをしてしまいます。妹は、とても家族からかわいがられています。私とちがつて手伝いもするし勉強もするからいつもくらべられます。だから私は妹といつもケンカをします。たいてい私が勝つが母達が途中に入つて邪魔をするので、勝負がつかないこともたまにありま

いということをしりました。でも後から考えてみれば、「はい。」と受けいれれば少しでも役にたつのにと思ひます。これから冬にはいるわけですが、祖母の手が黒から赤にかわるのをなるべくふせげるなら、ふせいあげたいなと思ひています。一日一日、時間がすぎていくなかで、年をとる祖母ですが私はまだまだ働けると思ひています。しらがふえ、体重がまた減つたという声も聞きます。大正九年十月十三日生まれ、身長百五十三cm、体重四十五kg、現在六十四歳、ヒップの大きなハツラツおばあちゃん。私よりも十cmも低いおばあちゃん。冗談も言うひょうきんおばあちゃん。今はいっしょに寝ています。ふん今の中で、一言となえる祖母。「ナマングー、ナマングー

に真っ黒になるのだそうです。冬になると冷たい水のために指の先がわれて、その間から血が流れ出るので、とても痛いそうです。私達のためにこんなになつていふのには、大変な感謝しなくてはいいけないと思ひています。でも時にはババアと思ひ、うしろをみれば、いろいろなことに、あれせ、これせ、とものをいいつける時なのです。でも後から考えてみれば、「はい。」と受けいれれば少しでも役にたつのにと思ひます。これから冬にはいるわけですが、祖母の手が黒から赤にかわるのをなるべくふせげるなら、ふせいあげたいなと思ひています。一日一日、時間がすぎていくなかで、年をとる祖母ですが私はまだまだ働けると思ひています。しらがふえ、体重がまた減つたという声も聞きます。大正九年十月十三日生まれ、身長百五十三cm、体重四十五kg、現在六十四歳、ヒップの大きなハツラツおばあちゃん。私よりも十cmも低いおばあちゃん。冗談も言うひょうきんおばあちゃん。今はいっしょに寝ています。ふん今の中で、一言となえる祖母。「ナマングー、ナマングー

プ」と。どんな意味がこめられていふかわかりませんが、きつと「今日一日ありがと、また明日もよろしく。」というものはないでしょうか。何もできない孫ですが、いい子になりま

おばあちゃんありがと



おばあちゃんありがと

北辰中学校二年 倉部 昭衣



私の家族は、父、母、祖母、弟、私の五人です。父と母は、毎日休むひまもないくらい朝早くからおそくまで働いています。祖母は家の中の仕事、畑仕事などをしています。私はとても感謝しています。でも十一月二十三日をむかえて、勤労感謝の日なのに、「ありがと。」という一言も言えないのです。なんだかとてもうれしくして何もできな

くなるのです。私がかう少し、家のために何かしてあげれば、少しは役にたつと思ひます。が、なかなかやれだせなくて。結局は、全部まかせっぱなしで甘えてばかりなのです。私の祖母は、頭はしらかに、顔にはしわ、指はあかぎれ、手はざらざらと、どこをとつても良いところがないような人物です。そのかわり、よく働

やさしくはないかもしれないが、とてもいい人柄です。そんな祖母が私は大好きです。祖母の手は季節によつて変化します。秋は、真っ黒、冬は赤くポロポロに。祖母に、おなかすいたからおにぎり作つてと頼むと、真っ黒な手を私の目の前に出して、作つてやるぞと笑いながら話しかけてくれます。秋になるとズイキの皮をむくため

プ」と。どんな意味がこめられていふかわかりませんが、きつと「今日一日ありがと、また明日もよろしく。」というものはないでしょうか。何もできない孫ですが、いい子になります。本当に毎日ありがとご言ひます。これからもよろしくお願ひします。おばあちゃん、百年でも千年でも長生きして下さい。

プ」と。どんな意味がこめられていふかわかりませんが、きつと「今日一日ありがと、また明日もよろしく。」というものはないでしょうか。何もできない孫ですが、いい子になります。本当に毎日ありがとご言ひます。これからもよろしくお願ひします。おばあちゃん、百年でも千年でも長生きして下さい。





明るい家庭にするためには

北辰中学校三年 佐々木 勝

一人間は社会的動物である。といわれている、つまり人間は、社会集団をはなれては生きていけないことを意味している。ぼくたちの生活は、自分一人で成り立っているのではなく、多くの人々とのかわり合いの中で営まれているのだ。家族の中の状態や地域社会や職場や学校で起るべき事が、ぼくたちの生活に影響をあたえている。

ところで家族という集団は、人間が社会生活を営むうえでの基礎的集団であり、家族が生活している場を家庭という。家族には次のような働きがあるという。ことを社会科学の時間に学習した。「人間形成の場」「経済生活の場」「いこいの場」これらがそれである。

や娘の地位は低くおさえられていた。しかし現在では家族生活における個人の尊厳と両性の本質的平等という原則が、憲法第二十四条に定められている。さらに民法では、家族それぞれの人格や自由が認められるようになった。とてもいいことだと思う。

現代の家族の特色には、核家族化が進んでいること、平均寿命の伸びてきていること、共働きが増えていること、問題としては、住宅問題、老人問題、そして親子間のさまざまな問題がある。老人問題では、核家族化が進むにつれて老人世帯が増えて老人が十分な扶養を受けられないことが多く、とくに寝たきりの老人の問題は、深刻な社会問題の一つになっている。ぼくたちは年をとらないわけにはいかない。いつかは年において扶養を受けなくてはならない時が来るのだ。

だからこの問題にはもつと力を入れてほしいと思う。このほかにも、生活に困っている人々への援助、公害や生活環境の問題などがある。これらのことは、個々の家族の努力だけでは解決できるものではなく、広く国や地方公共団体の政治や経済の問題として、考えていかなくてはならないはずである。今述べてきた諸問題が解決されること、明るく楽しい家族にしていけるためには絶対必要だと思う。

今までは、ごく一般的なことについて述べてきたが自分の家族のことについて考えてみた。多くの家の家族構成は、幸いなことに祖父、祖母ともに健存であり、父母と二人の兄と妹と自分の八人家族である。すなわち典型的な直系家族である。それぞれ性格も異なるのでささいなことでも争いがたえないが、明るく楽しく平凡な日々を過ごしている。祖父が病気がちで、何度も入院をくり返しているのが気がかりだが、あとのものは、

健康で人なみの生活をしている。これもみな一家の大黒柱である父が、毎日汗水流して働いているからである。我々未成年者は、こういった親の労働のおかげでなに不自由なく暮らしています。本当に感謝している。常にぼくたちが子供の将来のことを考えていてくれ、やる気があるならお金のことなど心配しなくてもいいから、高校でも大学でもがんばって行けよとよく言う。頑固でしようがないなと思うこともあるが、ぼくが一番尊敬しているのは父なのである。

ぼくの家は兼業農家である。田畑はたくさんあり、農繁期には猫の手も借りたくなるようなほどのいそがしさだ。当然のことながらぼくは、いやになるほど手伝いをさせられている。時には、あまり家の手伝いをしていないようなほかの人がうらやましくなった時もあった。ある時ぼくは、母に言った。「なんで俺んちは他所と比べてこんなにたくさん手伝いをやらんきゃねんだ。」と半分怒りのこもった言葉を不意に投げかけたことがあった。ところが、「他所は他所うちはうちだ。うちにはうちのやり方があるんだ。」と

あっさりつき返された。ぼくは返す言葉もなかったが、その時は納得がいかず、反抗的な態度を取ったこともあったが、今考えてみると、家族の一員として手伝いするのは当然のことだったんだ。なんて自分勝手なこと言っただろうかと反省の気持ちでいっぱいだった。ぼくの家では父の仕事の都合やぼくらが部屋にこもりがちなことやあって、学校や職場のでき事や個人の悩みを、積極的に話すことがあまりないのが問題だ。親子間の意志の疎通をはかるためにも家族どうしの会話が必要だと思う。そしていつも笑いの絶えない明るい家庭にするために家族の一員として協力していきたいと思う。



みんなで築こう 明るい選挙

第6回新潟県少年の主張 長岡・栃尾・三古地区大会 発表作品



先生へのプレゼント

北辰中学校3年 若井広美

昨年8月に長岡厚生会館において地区代表選考会を兼ねて開催されました。本年度は9,060名の中学生が原稿を寄せ、この中から、各中学校の代表として選出された47編の原稿を更に選考し、13名のかたが発表されました。13名の中に、北辰中学校三年若井広美さんが選ばれ発表されましたのでここに紹介いたします。

一人の父母の考えで、四十人もの子供の心を傷つけてしまった」という事を、私は非しく思いました。それと同時に、怒りがこみあげ、夕食の仕事をしていた母に、「お母さん、これ見て」とさげんでしまいました。

母は、小さくうなずきながら、記事を読み終え、私の意見を聞いた後、「もつと子供の心を考えてやるべきだよ。でも、十人十色で一人一人考え方が違うから仕方ないと思うよ。生徒もかわいそうだけど、プレゼントをもらった先生もかわいそうだね」と言った。たしかに、全部が全部同じ考えだというわけには行かないものです。いくらみんなが良いと思っている事でも、気に入らないと思っている人は、必ずいるものです。それは、大人達だけでなく、私達生徒にも言える事です。先生にプレゼントをする事を、クラスのみんなが賛成したのだろうか？「プレゼントなんてやる必要ないよ」といった生徒は一人もいなかったのだろうか？やりたくないと言え、みんなに非難されるから、いやいや賛成したという生徒も中にはいるかもしれない。

母の考えは、あっさり、割り切りすぎていると思いました。私は、なぜいけないのか、もつと、納得のいくような意見が聞きたかったのです。

二、三日後、プロ野球を見ながらビールをのんでいた父に、二日分の新聞の記事を読んでもらい、意見を聞いてみました。父は、「難しい問題らなあ。たしかにお金のかかっているプレゼントは悪いかもしれないけど、さわぎたてない方が良かったんじゃないか。別にその先生が、プレゼントを求めたわけでもないんだしなあ。」とちよつと考えた風と言った。「でも、こんな事でさわぎだすのがおかしいと思わない？学校側まで、いっしょになって」と私が、腹を立てたふうと言ったら、父は、「子供の気持ちは、大切にしなきゃダメらな」と力強く言った。

やはり父も、子供の気持ちの事を言っている。二百円をそのまま子供につき返したり、さわぎたてたりせずに、解決できなかつたのだろうか？たしかにプレゼントは、お金さえかれば良いというものではない。心がこもっていれば、たとえ「おめでとう」の一言だけであっても、うれしいものだと思う。子供たちも、そういう事に気がつければ、良かったのではないだろうか？この学校は、生徒の気持ちをまったく無視していると思った。いつもお世話になっている先生に感謝したかったからこそ、誕生日にプレゼントをしたのだ。その気持ちをわかってほしいのです。大人達が、義理でお中元やお歳暮をするのとは違うと思います。

現在のうちに複雑な世の中で、このような気持ちにしてくれた先生と、それに答えてくれた生徒は、本当にすばらしいと思いました。

少し前までは、問題にならないかたような事までが、今は問題になってしまっているので、時代は変わりつつあるのだなあと思いました。

このような、純粋な生徒の気持ちが生かせる世の中をこそ、私達若い世代が創りあげていかなければならないのではないのでしょうか。

新聞を読んでいて、おどろいた事がありました。今は、こんな事まで問題になってしまいうのかと、悲しくなってしまうし

記事は、「担任女教師の誕生日祝い」「贈り物に二百円全員カンパ」という見出しで始まり、四分の一ページほどに、二日間わたって書いてありました。

千葉県の、ある小学校の五年生児童四十人が、担任の先生のために、おこずかい二百円ずつを出しあつて、ぬいぐるみとポシェットと、花束を買い、学校の時間にプレゼントしたというものでした。その後、生徒の父母の一人が学校にこの事を知ら

せたため、事が大きくなり、学校側は、プレゼントを受けた先生に、「二百円ずつ生徒に返すように指示した」というのです。先生は、その日のうちに二百円ずつを封筒に入れ、子供達に返したという事でした。子供達は、その二百円が、プレゼントのものと知り、思わぬ事態に涙を浮かべ、「ぼくたち、何か悪い事をしたのかな」と訴える子供たちもいたという事でした。

なぜ、子供の心を傷つけてまで、問題にしなければいけないのでしょうか？こんなにまでクラスをまとめあげてくれた先生に、感謝しなければいけないのではないのでしょうか？「たった

母の考えは、あっさり、割り切りすぎていると思いました。私は、なぜいけないのか、もつと、納得のいくような意見が聞きたかったのです。

母の考えは、あっさり、割り切りすぎていると思いました。私は、なぜいけないのか、もつと、納得のいくような意見が聞きたかったのです。

母の考えは、あっさり、割り切りすぎていると思いました。私は、なぜいけないのか、もつと、納得のいくような意見が聞きたかったのです。

母の考えは、あっさり、割り切りすぎていると思いました。私は、なぜいけないのか、もつと、納得のいくような意見が聞きたかったのです。

母の考えは、あっさり、割り切りすぎていると思いました。私は、なぜいけないのか、もつと、納得のいくような意見が聞きたかったのです。

母の考えは、あっさり、割り切りすぎていると思いました。私は、なぜいけないのか、もつと、納得のいくような意見が聞きたかったのです。

気をつけよう無駄な医療費みんなの負担

お知らせ広場

国民年金

20歳からです 国民年金

若いうちから
老後の備えを
始めましょう



成人式を迎えられたみなさん、おめでとございます。これからは、立派な社会人として自らの意志と努力で、しっかりと人生を歩まれることではないでしょうか。みなさんは、「今から年金なんて」と思われるでしょう。しかし、年金は遠い将来のことではありません。私たちの社会は、人口の高齢化が急ピッチに進んでいますし、また長い人生では、いつどんなことで災難にあうかも知れません。年をとった時や、不測の事故で障害者などになったときに個人だけの力で生活を支えるのはとても大変です。そこで、働きなくなったときの生活を社会全体の力で、おたがいに守り合っていくために、国民年金、厚生年金や各種の

産業別最低賃金の改正について

- 1、食料品製造業最低賃金
 - 1日……… 3,569円
 - 1時間……… 447円
 - (効力発生日：昭和59年12月15日)
- 2、卸売・小売業最低賃金
 - 1日……… 3,491円
 - 1時間……… 437円
 - (効力発生日：昭和59年12月15日)

停電のお知らせ

東北電力(株)燕営業所
日時/1月17日(木)
午前9時30分～午後1時まで
地域/中沢の一部(日野浦線1号～4号)

1月の心配ごと相談

日時…16日、25日
午前9時から午後3時まで
場所…福祉センター相談室
内容…生活相談・医療相談・家事相談・児童相談・年金・身障相談・職業相談・その他なんでも

- ◎ 60歳になる人
大正14・1・2～大正14・2・1生まれ
 - ◎ 65歳になる人
大正9・1・2～大正9・2・1生まれ
- 老齢年金の繰上請求していない方は必ず請求しましょう。

共済組合など八つの公的な年金制度が設けられております。すべての人が、それぞれの職業によっていずれかの年金制度に入ることになっております。年金は、長期間にわたり保険料を納めて、初めて手にするものです。二十歳になったみなさんも年金制度への理解を深め、将来を安心あるものにして下さい。

成人の日を迎えられたみなさんへ

「あなたも検察審査員に選ばれます。」
成人になられたみなさんは、選挙権をもち選挙人名簿に登録されますが、また選挙権とは別に検察審査員に選ばれることがあります。
検察審査会とは、みなさんの中からくじで選んだ審査員十一名から成り(法律職にある人は審査員にはなれない)検察官のした不起訴処分等被害者の不販申立てを審査するのが主な仕事です。検察審査会は民主主義に則った刑事裁判の民主化制度で、検

「あなたも検察審査員に選ばれます。」
成人になられたみなさんは、選挙権をもち選挙人名簿に登録されますが、また選挙権とは別に検察審査員に選ばれることがあります。
検察審査会とは、みなさんの中からくじで選んだ審査員十一名から成り(法律職にある人は審査員にはなれない)検察官のした不起訴処分等被害者の不販申立てを審査するのが主な仕事です。検察審査会は民主主義に則った刑事裁判の民主化制度で、検

年金で老後をゆたかに!

国籍法・戸籍法の改正について

国籍法及び戸籍法が改正され今年一月一日から施行されましたが、その主な改正点は次のとおりです。
詳しいことは最寄りの法務局にお尋ね下さい。

- 一、父母両系主義の採用
これまでは、原則として生まれた時に父が日本人でなければ、その子は日本人にならなかったのですが、昭和六十年一月一日からは、生まれた時に父母の一方が日本人であれば、その子は日本人になります。
- 二、二重国籍の防止・解消
父母両系主義を採用すると二重国籍になる子が多くなります。例えば、韓国人夫・日本人妻の夫婦から生まれた子は、これまでは父親の韓国の国籍だけを取得しましたが、これからは、これに加えて母親の日本国籍をも取得して、二重国籍者になります。改正法は、このような二重国籍の増加に対処するため、新たに次のような二重国籍防止のための制度を設けました。
- 三、帰化条件の改正
これまでは、日本人と結婚した外国人の帰化条件は、その外国人が夫であるか妻であるかで居住の条件などに差異がありました。改正法では、これを同一にして、三年以上国内に居住していること(結婚が三年以上続いている場合には、一年以上国内に居住していること)が必要になりました。このほか、これまでは帰化申請者本人に独立の生活能力のあることが必要とされていたが、改正法では、原則として世帯単位で生活能力が判断されることになりました。
- 四、届出による国籍の取得
父母両系主義は、昭和六十年一月一日以降に生まれた子に適用されますが、この日より前に生まれた子には適用されません。けれども、国際結婚をした日本人女性の子で、改正法施行の日に二十歳未満

であるものについては、一定の条件の下で、施行後三年間に限り法務大臣に届出ることによって日本の国籍を取得することが出来ます。
五、国際結婚をした人の氏の変更
外国人と結婚しても、結婚した日本人の氏が変わらないのは、これまでと同じですが改正法は、その人が希望するときは、結婚の日から六カ月以内に市区町村長に届出をすることによって外国人配偶者と同じ氏を名づけることが出来ることになりました。

リハビリ訓練について

日時/1月22日(火)
午後1時30分～4時
場所/和島村総合福祉センター

公給領収証を受け取りましょう

料理店等の経営者は、飲食等の料金と併せて料理飲食等消費税を受け取った場合、代金と引き換えに「公給領収証」を渡さなければならぬことになっています。会計の際は「公給領収証」を受け取りましょう。

広報わしま縮刷版(第一巻)追加予約募集!!

- 頒布価格 3,000円
- 申込締切 1月25日(金)
- 頒布予定日 2月15日(金)
- 申込先 役場企画課

乳児医療費助成金・先天性代謝異常検査料補助金の口座振替について

乳児医療費助成金・先天性代謝異常検査料補助金は、今まで役場収入役室で現金を支払っておりましたが、昭和六十年一月申請分からは、口座振替の方法により支払いいたしますので、申請書を提出される際は次のことに注意下さい。
一、申請書の該当欄に、「口座振替先金融機関名」「預金種別・口座番号」「口座名義」を必ず記入して下さい。なお、口座は申請者本人の口座を記入して下さい。
二、申請書の受付は、従来通り毎月二十五日で締切、翌月十五日に口座振替いたします。不明な点は役場住民課へお問合せ下さい。

婦人の地位を高めよう

農業委員会委員選挙人名簿登載 申請書の提出について



農業委員会では「やめよう！ヤミ小作・進めよう！利用権設定」を合言葉に利用権設定等促進事業による貸借を進め、安定的な利用関係を保ち健全な農業経営が出来るよう掘り

起こしを行っていますので御協力くださいますようお願いいたします。
なお、農地の問題は最寄りの農業委員が直接役場農業委員会に御相談ください。

毎年、一月一日現在による農業委員会委員選挙人名簿登載申請書を農業委員会まで提出しなければなりません。
次の事項に該当する方は、一月十日までに提出してください。
一、和島村農業委員会の区域内に住所を有する者であること。
二、年齢が満二十歳以上の者であること。三月三十一日現在（昭和四十年四月一日生れまで）二十歳に達する者も記入してください。
三、十アール（一反歩）以上の農地につき耕作の業務を営む者。
四、耕作従事日数が年間おおむね六十日以上ある者。
五、申請書の記入事項はすべて昭和六十年一月一日現在の状況を記入すること。
以上申請書の裏面にも記載してありますが、不明な点は農業委員会にお問い合わせください。

ありがとうございました！

共同募金九九一、五二〇円

十月一日から実施致しました赤い羽根共同募金につきましては、区長さんをはじめ、事業所、学校、村民の皆さんの御協力により別表の実績をあげることができました。厚くお礼申し上げます。募金は、

新潟県共同募金会へ納入し、六年度にこの募金の配分金が和島村社会福祉協議会に、約七十七万円交付され、本村社会福祉の財源として活用されます。

○戸別募金 六九九、〇五〇円
○事業所募金 二二一、〇〇〇円
○学校募金 三七、三〇一円
○その他 四五、一六九円

部落名	募金額(円)	部落名	募金額(円)
上小島谷	18,700	上 桐	51,700
中小島谷	23,650	三瀬ヶ谷	9,350
下小島谷	26,400	北 野	25,850
駅 前	57,200	根小屋	11,000
下 富岡	30,250	荒 巻	30,250
若 野 浦	8,800	新 田	14,300
阿弥陀瀬	17,050	中 央	23,100
高 畑	12,100	下町上	29,700
日 野 浦	26,400	下町下	35,200
中 沢	31,350	川 端	20,350
梅 田	11,000	道 城 下	18,150
東 保 内	36,300	法 善 町	14,850
村 田	37,400	寺 町	13,750
城 之 丘	22,000	小 谷	4,400
両 高	30,250	小 計	301,950
坂 谷	8,250		
小 計	397,100	合 計	699,050

“歳末たすけあい募金”

歳末たすけあい募金につきましては、区長さんをはじめ、婦人協議会、日赤奉仕団、村民の皆さんの御協力により249,170円の実績をあげることができました。厚くお礼申し上げます。募金は、和島村在宅の方と福祉施設に入所されている方々の歳末慰問に使用され喜ばれております。なお一部は、災害時の義援金として使用させていただきます。

和島幼稚園入園願の受付

和島幼稚園も開園して九カ月がすぎました。
子供達も元気いっぱい飛びまわっています。
昭和六十年度の入園願を受付しますので、申し込みは早目にお願いたします。
◇入園できる子供さんは
昭和五十四年四月二日～昭和五十五年四月一日までに生まれた子供さん
○教育委員会 (74) 3 1 1 1
○幼稚園 (74) 3 6 6 8

保育所入所申請受付

昭和六十年度和島村立保育所の入所申請を受け付けいたしますので、希望される方は、次により申請して下さい。
一、保育対象児
昭和五十五年四月二日から昭和五十七年四月一日までに出生した児童。
二、申請期間
昭和六十年一月十六日から一月三十一日まで。
三、申請書等提出場所
関係地域の保育所
（申請書及び入所調査票は、各保育所に備え付けてありますので、印鑑持参のうえ、所定事項を記入し提出して下さい。）
不明な点は、役場福祉係、又は各保育所に照会して下さい。

国民健康保険

◆各給付費の支払いは、 二月支払分から口座振替になります

助産費、葬祭費、育児手当金、療養費、高額療養費、保険料過誤納還付金、特例療養費の還付金は、今まで役場収入役室で現金を支払っておりましたが、昭和六十年一月申請分からは、口座振替の方法により支払いいたします。申請書を提出される際は、世帯主の「口座振替先金融機関名」「預金種別・口座番号」を記入していただきますので、メモ等して領収書と一緒に忘れずにご持参下さい。
申請書の受付は、月末で締切（高額療養費を除き）翌月の十五日に口座振替いたします。不明な点は国保係へお問合せ下さい。

◆改正された高額療養費の支給制度

五十九年十月一日より支給要件が改正され、次のような場合、国保に請求すれば高額療養費が支給されます。
一、自己負担額が五万一千円以上の場合
同じ人が同じ病院で同じ月内に医療費の支払いが五万一千円（住民税非課税世帯は三万円）を超えて支払った場合。
二、同月に自己負担額が三万円以上が二回以上の場合（新設）
同一世帯で同じ月に三万円（住民税非課税世帯は二万一千円）を超えた分。
三、申請書等提出場所
関係地域の保育所
（申請書及び入所調査票は、各保育所に備え付けてありますので、印鑑持参のうえ、所定事項を記入し提出して下さい。）
不明な点は、役場福祉係、又は各保育所に照会して下さい。

四、高額な治療を長期間受ける場合（新設）
血友病及び人工透析が必要な慢性じん不全は限度額一万円を超えた分。
○医療機関に支払う方法として次のような方法もご利用ください。
○高額療養費受領委任払い制度
○高額療養費貸付制度
なお詳細については、国保係にお尋ね下さい。